

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			61㎡の広い療育スペースで、のびのびとした療育活動を行っています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○			4月より新たに保育士2名が常勤職員として従事します。より充実した人員配置でご利用者様に寄り添った支援を行ってまいります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		当事業所は2階にあるため階段を利用しています。療育室内等の通常活動エリアはバリアフリーになっています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎週ミーティングを行い業務改善に努めています。4月からは日々のミーティングの中で、目標設定と振り返りを行い業務改善に努めていきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表によるアンケートを定期的に行い、保護者様からのご意見をもとに業務改善に努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページ上にて公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施しておりません。定期的に内部監査を行い業務改善していくことを検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修計画に基づき、OJT、OFFJT等、必要な研修の機会を確保しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様、ご利用者様とのアセスメントおよび相談支援事業所等との連携により、適切な支援が行えるよう計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			独自のアセスメントシートを利用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			個別支援計画を基に、毎週ミーティングを実施し、集団活動および個々の支援プログラムを決めています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			毎週のミーティングの中で、課題の振り返り等を行うことにより、様々な方向性から目標達成ができるよう活動プログラムを決めています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は放課後の短い時間の中で、個々の課題に寄り添いながら支援を行っています。休日や長期休暇時は、課外活動等による社会学習を積極的に行い、ルールやマナーの学習、興味の範囲の拡大、できることを増やすといったことに軸をおいて支援を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別活動や集団活動のほかに小グループでの活動など、ご利用者様の状況や課題に応じて支援できるよう計画を作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		毎週のミーティングだけでなく、4月からは毎日ミーティングを行い、一日の振り返りおよび支援プログラムについて検討および共有してまいります。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			4月からサービス提供記録簿を刷新し、より適切な支援に繋がられるよう記録してまいります。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行い、計画の見直しや支援の方向性等の検討を行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		個々の特性に応じた支援方針を基に、様々な活動を通して成功体験を積み重ねながら、興味の範囲の拡大や、できることを増やせるよう努めています。また、社会生活をしていく上でのルールやマナーを課外活動や集団活動で身に付けていけるよう努めています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		○	児童発達支援管理責任者および直接支援に携わっている指導員が参画し、相談支援事業所と情報共有できる体制の整備を検討しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		保護者様や支援担任から頂いた月間予定表をもとに、送迎時間や行事等の確認を行っています。学校へのお迎え時には支援担任と簡単な情報共有を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	現在、医療的ケアが必要なご利用者様はいません。協力医療機関との連携や服薬管理等のサポートは行っています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	現在、対象者がいません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	現在、対象者がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			積極的に研修へ参加し、日々の支援に活用しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	安全面等の配慮から児童クラブ等との交流は現在検討していません。ただし、成人後の社会生活や療育観点から地域交流は必要と考えていますので、今後、地域イベント等への参加を検討していきます。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			定期的に開催される交野市放課後等デイサービス連絡協議会に参加し、行政および各事業所との情報共有に努めています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に、その日の状況等の報告や、ご家庭での様子等を確認しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	保護者様からの相談に対しての支援は行っていますが、ペアレント・トレーニングとなると時間が必要になるため行っておりません。ペアレント・トレーニングにつきましては、今後、検討していきます。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			ご利用契約時に説明しています。契約内容や重要事項に変更があった時は、その都度、説明しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、ご家庭からの相談に応じています。実際に支援方法の提案と支援グッズの提供を行い、ご家庭で実行されて成功した事例もあります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在、保護者会等は開催していませんが、今後、療育に関する講演会やイベント等を開催し、保護者様同士が交流できる機会を作っていきたいと考えています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速な対応ができるよう体制を整備し、保護者様に周知しています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○	現在、不定期で会報を発行しています。今後、内容をより充実し定期発行できるよう努めていきます。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報には鍵付き書庫で厳重に保管管理し、情報漏洩防止に努めています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		個々の障がい特性に寄り添いながら、ツール等も活用して、分かりやすく伝えることを心がけています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	安全面等の配慮から、地域住民を招待するイベント等は行っていません。地域交流は必要と考えていますので、今後、畑で収穫した野菜や事業所で制作した工作物を使って、地域貢献できるようなイベント等を主催できればと考えています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルを策定し、職員研修を行い周知徹底しています。また、非常対策備品等についても常備しています。保護者様には書面による周知を検討しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○	3月に消防署立ち合いのもと、職員による消防訓練を実施しました。今後、定期的にご利用者様も参加した消防署立ち合いの避難訓練を行う予定です。これ以外にも救急救命訓練や防災施設への課外学習も検討しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		定期的に虐待防止研修を社内で行っています。また、外部研修へも参加し、職員と情報共有しながら虐待防止に努めています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		極力、身体拘束を行わないよう職員の専門性の向上に努めています。身体拘束が必要になるとされるご利用者様には、予め保護者様に具体的な計画等を説明し同意を得た上で必要最小限での対応ができるよう体制を整えています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	ご利用契約時に食物アレルギーの有無について確認しています。食物アレルギーがあるご利用者様の情報は職員間で共有すると共に、職員が常に確認できる場所に掲示して注意できるよう心掛けています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	ヒヤリハット事例を作成し、定期的に職員間で共有しながら、安心安全にご利用して頂けるよう日々努めていきます。